

ペットボトルによる簡易吸引器

在宅療養中の患者さんの中には、常に「たんの吸引」が必要な方がいます。災害時や定期停電などにより電源吸引器が使えない場合の緊急用簡易吸引器の作り方を説明します

- ① 比較的硬めのペットボトル（500ml）のフタに熱した釘などで穴を作ります。釘の場合は20-30秒ほど火にかけ真ん中に穴をあける動作を5-7回繰り返すと、ちょうどカテーテルチューブの接続部がカチット入ります。



ライターより火力のある火で釘を20-30秒熱してフタを貫通させます



同じように熱した釘でグリグリと穴を広げる（ココが少し時間がかかります）

- ② ゆるみがあれば、セメダインや瞬間接着剤で止めます。



しっかりと接続できればセメダインは必要ない(Fr. 12位だと吸引力が維持できます)

- ③ 手でボトルをぎゅっと圧縮した状態で、カテーテルチューブを口や鼻から挿入し、手を緩めながら吸引すると適度な吸引力でたんを除去できます。このペットボトルの弾力を利用して吸引すると、口で吸ったり、大きな注射器を利用するより、両手が使えて楽に吸引が行えます。



ボトルの陰圧で吸引できます。最後にフタを外してボトルを水洗いします。

(社) 全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会